

第6回大井町総合計画審議会 概要

日 時：平成22年8月10日（火）
午前9時～午前10時30分
場 所：役場301会議室

出席者：熊沢清会長、植松清治会長職務代理、大澤一良委員、石井勲委員、橋本淑子委員、
石原昭平委員、風間秀泰委員、川口彪委員、宇多澄子委員、石井律子委員、小関哲哉委員、
石井孝典委員、足立隆充委員

欠席者：瀬戸二郎委員

事務局：神保政義企画財政課長、湯川博之副主幹、立川悟主任主事

1 開会

熊沢会長より開会のあいさつ

2 議題

(1) 大井町第5次総合計画原案について

<事務局より第5次総合計画原案の一部修正について資料1、資料2により説明>

【意見・質疑】

重点分野と成長戦略は順序を入れ替えて、成長戦略を前に出した方が良い。

成長戦略に「ビジターセンター」について言及されているが、国や県の補助金がないと聞いている。また、直売と農業等体験の2本立ての事業をすることだが、地元からはビジターセンターでの販売は難しいとも聞いている。このような状況でもビジターセンターという名称でいくのか。さらに、33ページの「行政運営」の「現状と課題」には、「歳入の大幅な増加が見込めない」とあるが、「大井町を取り巻く現状」の「4 財政状況」には「減少していくことが見込まれます。」とある。33ページには「減少していく」とした方が良いのではないか。

ビジターセンターについては管理棟の機能を含めて、名称はそのままで支障はないと聞いている。財政状況については、去年、今年と景気低迷によって税収が底となっているが、今後、歳入を増やしていくことは難しいため、このような記述となっている。

相和地域の活性化が成長戦略に位置付けられているが、現状がどのようになっているのかが、よくわからなかった。審議をするためには、担当課の説明を聞きたかった。

総合計画は前後期に分かれる。特にむこう5年間の前期の間に具体的なことも変化していくこともある。前期の5年間のうちに具体策を考え、実現となればよいのではないか。

ひょうたん祭はあれだけの集客があり、他の市町にひけをとらない。商工会の方に頑張ってもらって、まさに協働という中でやってきた賜物である。これからはこういった会議にも若い人をもっと取り込むと良い。環境問題をはじめ、これからを担う人に出てきてもらって意見を直接聞くことが必要と考える。役がつくと負担感を感じる人もいるかもしれないが、町への関心を持つきっかけとなる。

計画に記述されているが、福祉の面、特に児童虐待や高齢者問題等について町と町民とが連携しながら取り組んで行くことが必要と考える。

ボランティアをしたいという気持ちを持っている人は多いが、束ねていくリーダーがいない。何か人のためにしたくても何をしたら良いのかわからない、という人が多い。今後はそういった人たちの人材育成が重要となる。

非常によくできた計画となっている。不安を感じるのは、最近ひったくりが頻発しているように治安が悪化している。若い人は、安全は水と一緒にタダという感覚があるのかもしれないが、そういう考えは危険。皆が安心して暮らせるように治安について取り組んでいって欲しい。

自治会と地元の中学生が連携して地域ふれあい活動を展開している。特に、本年度は中学生が20名以上地元の夏祭りに参加し、模擬店の手伝い等をするなど明るい話題もある。

かつての金田村の道路は日本一ともいえるきれいさを誇っていた。子どもたちが道路の掃除等をしてきたおかげ。こういった活動が現在の美化作業に繋がっている。

ひょうたん祭の終了後にPTAでパトロールを実施した。その中で、先生と生徒の距離が近くなっている気がした。逆に言えば親と子との距離ができてしまったともいえるのではないか。

これからの大井町は子ども達が担っていく。その子ども達の教育環境について成長戦略としてとりあげられて良かった。

相和地域については、とにかく人口を増やさないと、どこの地域も減っている現状にある。消防団員も定員を満たしていないなど、家庭を増やしていく必要がある。相和小の子どもは100人を割っている状況である。学区を変えて上大井の子どもに来てもらうなどの検討も必要ではないか。ビジターセンターは平成23年に建設すると計画されているが、この計画が揺れ動いていると会議の中でも出ている。農業体験をやるという話しもあるが、ビジターセンターが建たないと行動に移せない。相和地域を活性化するために何とかして欲しい。

相和地域の問題は市街化調整区域であるというのも一つにはある。最近の地方分権の流れで都市計画をはじめとした法律について、自治体がそれぞれに決められるようになる法律が改正されていくのではないかと。適正に人口配置ができれば良いが。

相和地域の人の中には他の市町の直売所に多くの農産物を出している人もいる。ビジターセンターについては地元がどのように積極的に考えているのかが重要になる。

成長戦略に金子吉原地区の土地区画整理事業があるが、これまでの計画にも掲載されていたこと。この実現によって大井町の人口も増えていく。これだけ公共施設がまとまっているところもないので、今こそ事業を実現させる時期にある。企業誘致についても、実施計画の中でより詳細に位置付けていくことが重要である。

ひょうたん祭は非常に活気があって良かった。これからも継続して欲しい。子育てについては、親が自分の子だけでなく、近所や同じ小学校の子も含めて見守っていけるような環境になると良い。

団塊世代を掘り起こせば様々な人材が出てくる。そのための環境が必要。良いまちには人が集まってくる。人口減少といわれていても横浜や東京は今でも人口が増えている。それだけの魅力あるまち

となれば、自ずと人口は増える。大井町にはそれだけの良い環境がそろっている。高齢化対策や医療をしっかりと取り組んで欲しい。財政問題では10年後はわからない。この計画でしっかりやって欲しい。

<会長より第5次総合計画原案（一部修正版）を答申することについて委員に諮ったところ異議なしとして認められた>

(2) 大井町第5次総合計画原案の答申について

<事務局より答申案について資料3により説明の後、会長より答申案について委員に諮ったところ異議なしとして認められた>

<熊沢会長から間宮町長に答申書を手交>

以 上